

## 議事録

1. 件名：「令和 5 年度制振装置の試験」に係る技術検討会(第 1 回)
2. 日時： 令和 5 年 11 月 22 日(水) 8:45～10:00
3. 場所： 原子力規制庁 16 階会議室(Web)
4. 出席者： 原子力規制庁  
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門  
日比野総括技術研究調査官、田岡主任技術研究調査官、川内技術計画専門職、  
石田技術参与、高松技術参与  
  
東芝エネルギーシステムズ株式会社  
原子力プラント設計部 エキスパート 他 2 名  
機械技術開発部 エキスパート 他 1 名  
原子力技術部 シニアエキスパート  
  
学校法人東京都市大学 総合理工学研究科 教授 1 名  
学校法人東京電機大学 理工学部 教授 1 名 工学部 教授 1 名
5. 要旨：  
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門では、地震に対するフラジリティ評価手法の高度化の検討の一環として、既設プラントに新たに導入された設備の耐震性を把握するための安全研究を令和 3 年度から令和 6 年度にかけて計画し、実施している。  
当部門では、本安全研究の一環として、東芝エネルギーシステムズ株式会社と請負契約を締結し、「令和 5 年度制振装置の試験」事業を実施している。  
今回は、当事業について学識経験者から意見を伺う技術検討会を実施した。  
内容は下記のとおり。
  - ① 規制庁より、本安全研究の目的及び本安全研究における本事業の位置付けについて説明した。
  - ② 東芝エネルギーシステムズ株式会社より、本事業について、実施計画及び事業の進捗として試験方法、試験条件及びこれらを取り纏めた試験要領について説明があった。

- ③ 学識経験者から、試験条件、報告書を纏める際の留意点についてコメントがあった。
- ④ 次回の技術検討会の開催を令和6年3月中旬で調整することとした。

6. その他  
特になし